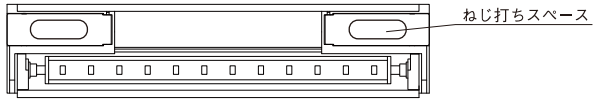
この印刷物は環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

左右のフタを開けてねじ打ちスペースに打ってください。
金属片等が器具内に入らないようにご注意ください。

ねじ打ちの際のご注意



DNライティング株式会社

LED たなライト

TX-LED

（100V , 50 ／ 60Hz 共用）

取扱説明書 保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら
製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。 15 年 03 月 25

営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5：03-3492-4460　札幌営業所：011-824-5051　仙台営業所：022-283-3401　名古屋営業所：052-322-2861　大阪営業所：06-6338-1081　福岡営業所：092-471-8075

安全上の注意

⚠ 警告

- ● 取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ● 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- ● 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- ● 器具に搭載している直流電源装置や LED モジュールの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- ● 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- ● 器具の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- ● 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
- ● 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。感電、火災、ケガの原因となります。
- ● 器具間での電源送りは取扱説明書にしたがって 10 灯以内としてください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。
- ● 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- ● 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- ● アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実におこなってください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

⚠ 注意

- ● 電源電圧は、AC100V±6V 以内で使用してください。LED モジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障、火災の原因となることがあります。
- ● 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ● 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- ● 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ● 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ● 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- ● 引火する危険性のある雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- ● 腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- ● 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ● 器具を被照射面に近接した位置に取り付けないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- ● 器具間の電源送りをする場合は、渡りコード DKF（別売）以外は使用しないでください。感電、火災の原因となることがあります。
- ● 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ● 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- ● 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意して、器具と造営材との間隔をとってください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- ● 可燃性造営材に取り付ける場合には器具との間隔をとってください。火災の原因となることがあります。
- ● 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ● 電源コード DDF（別売）のプラグは中央の刃をラインコンセントの真ん中のレールにあわせてまっすぐしっかりと差し込んでください。感電、火災の原因となることがあります。
- ● 電源コネクタ収納蓋を開閉するときには、手や電線を挟んだり、傷つけないように注意しておこなってください。感電、火災、故障、ケガの原因となることがあります。
- ● 器具に取付穴をあける際、金属粉等が器具内に入らないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- ● 周囲温度は 5℃～35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、故障の原因となることがあります。
- ● 点灯および消灯直後に LED モジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- ● 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- ● 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LED モジュールの光が入らないよう配慮してください。
- ● 器具を並列に取り付ける場合は、器具 1 台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、直流電源装置や LED モジュールの短寿命の原因となることがあります。
- ● 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり（音）を生じる場合があります。
- ● ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から 1 m以上離して使用してください。
- ● 交換の際は器具ごと交換ください。LED モジュールや LED 素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- ● 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
  - ①器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
  - ②器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
  - ③器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- ● LED 素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- ● LED 素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。
- ● 点灯している LED モジュールを長時間直視するのはおやめください。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ● 電源を投入しても点灯までに 1 ～ 2 秒かかることがあります。
- ● 調光器との併用はできません。
- ● 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。

保守・点検

- ● 照明器具および関連部品（直流電源装置、ランプ、モジュール含む）には寿命があります。
- ● 設置して 8～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
  ※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。（JIS C 8105-1 解説による）
  ※LED 光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- ● 1 年に 1 回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。（弊社のホームページまたは製品カタログに掲載）
- ● 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ● 3 年に 1 回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ● 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

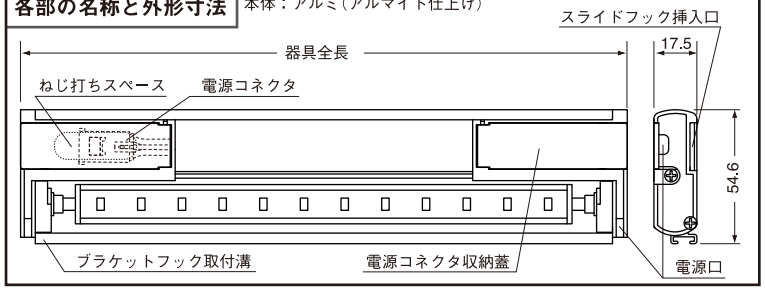
定格（仕様と定格は予告なく変更することがあります。）

形　式	器具全長（mm）	本体質量（kg）	入力電流（A）	入力電力（W）
TX-LED 368B□□-R	368	0.29	0.077	3.9
TX-LED 368B□□-L	368	0.29	0.077	3.9
TX-LED 462B□□	462	0.35	0.115	5.8
TX-LED 520B□□	520	0.40	0.125	7.5
TX-LED 554B□□	554	0.43	0.140	8.0
TX-LED 630B□□	630	0.48	0.140	8.0
TX-LED 706B□□	706	0.52	0.180	10.5
TX-LED 757B□□	757	0.56	0.180	10.5
TX-LED 808B□□	808	0.59	0.200	12.0
TX-LED 859B□□	859	0.62	0.200	12.0
TX-LED 909B□□	909	0.65	0.200	12.0
TX-LED1064B□□	1064	0.75	0.240	15.0
TX-LED1138B□□	1138	0.80	0.240	15.0
TX-LED1214B□□	1214	0.85	0.240	15.0
TX-LED1367B□□	1367	0.94	0.320	19.0
TX-LED1443B□□	1443	1.00	0.320	19.0
TX-LED1519B□□	1519	1.10	0.320	19.0
TX-LED1621B□□	1621	1.15	0.410	24.9

※入力電圧AC100V　※周波数50/60Hz共用
※形式のBはLEDピッチ20mm、□□は色記号（Lは電球色、WWは温白色、Wは白色、Nは昼白色、Dは昼光色）
※TX-LED 368B□□-Rは右側に、TX-LED 368B□□-Lは左側に電源コネクタが装着されています。

各部の名称と外形寸法

本体：アルミ（アルマイト仕上げ）



付属品：全長 1139mm 以上のサイズのみＣＤＬホルダー付属

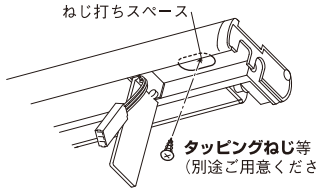
単位：mm

取付方法

1. 本体の取り付け

木棚に直に取り付ける場合

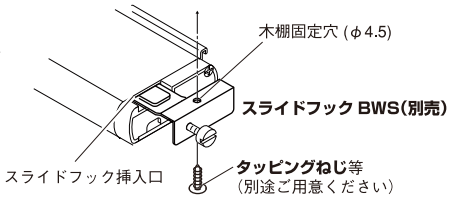
タッピングねじ、または別売のスライドフック BWS をご使用ください。



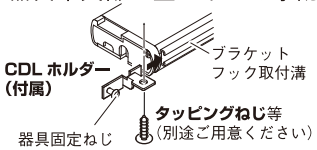
電源コネクタ収納蓋を開け、ねじ打ちスペース内にタッピングねじ等で確実に固定してください。

注】器具に穴をあける際、金属粉等が器具内に入らないよう注意してください。漏電、感電、故障の原因となることがあります。

スライド部を器具の左右のスライドフック挿入口へ差し込み、フック部にある木棚固定穴を使用してタッピンねじ等で確実に固定してください。



器具中央部の垂れ下がり予防(全長 1139mm 以上サイズのみ)

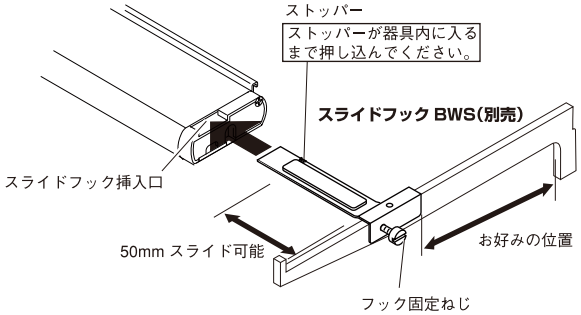


始めに付属の CDL ホルダーのアーム部を器具のブラケットフック取付溝へ端から差し込み、中央付近までスライドさせ、器具固定ねじを締めてください。固定穴を使用してタッピングねじ等で確実に固定してください。

ブラケットの内々に取り付ける場合

別売のスライドフック BWS をご使用ください。

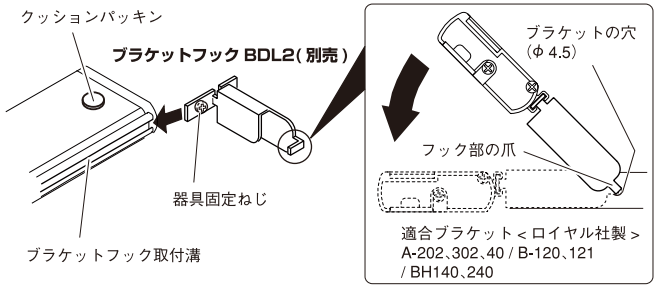
スライド部を器具の左右のスライドフック挿入口へブラケット幅に合わせて差し込み、フック部をブラケットへ引っ掛け、フック固定ねじを確実に締めてください。



ブラケットの前部に取り付ける場合

別売のブラケットフック BDL2 をご使用ください。
(ロイヤル社製穴付ブラケットに取り付ける場合)

アーム部を器具のブラケットフック取付溝へ端から差し込み、ブラケットの幅に合わせてスライドさせ、器具固定ねじを締めてください。
フック部の爪をブラケットの穴に差し込み、確実に収まるまで器具を回してください。ガラスのズレ防止には、クッションパッキンを使用してください。

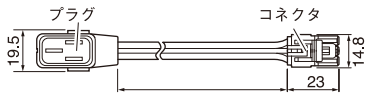


2. 電源コード (別売) または渡りコード (別売) の器具への取り付け

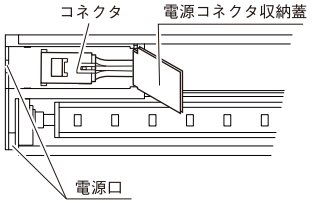
※必ず電源を切ってください。

・左右どちらかの電源コネクタ収納蓋を開け、コネクタに電源コード DDF(別売)を接続してください。
・本体の取り付け方によって電源コードの出し方を決め、コネクタは器具内に収納して電源コネクタ収納蓋を閉めてください。
・プラグをラインコンセントに差し込んでください。余ったコードは F モール(別売)等で束ねてください。

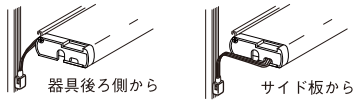
電源コードDDF（別売）250V・6A



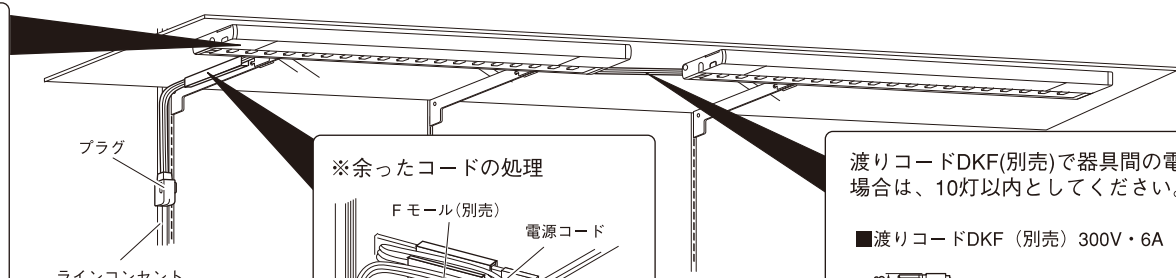
300・400・500・600・700・800
・900・1000・1200・1500　単位：mm



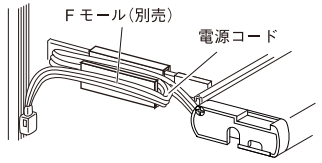
電源口からの電源コードの出し方



注】どちらからでも給電できますが、絶対に両方から給電しないでください。感電や火災の原因となります。

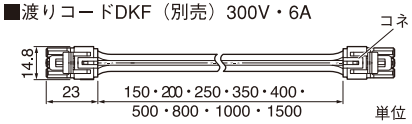


※余ったコードの処理



渡りコードDKF(別売)で器具間の電源送りをする場合は、10灯以内としてください。

■渡りコードDKF（別売）300V・6A



単位：mm

3. 電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LED が点灯することを確認してください。

4. 照射方向の調整

LED 部の端を押して、お好みの照射方向へ調整してください。